



全道共産党議員 道交渉に325項目

はたやま前衆議11/11夕張で講演

党北海道委員会自治体部 道議団+地方議員で道交渉



最前列の発言席で重要項目について発言するくまがい桂子市議

10月19日、北海道議会新庁舎において、日本共産党北海道委員会主催の2020年度の対道交渉が開催されました。

今年初のコロナ禍のもと、参加者の人数制限やマスク着用など様々な制約の中、南空知からは、岩見沢の上田市長、夕張市議、美唄市の吉岡前市議、夕張からくまがい桂子市議が参加しました。

当日は、事前に伝えてあったそれぞれの町の住民の要求や要望についての回答を見たいうえで、重点項目については、さらに詳細な情報で緊急性や危険性を訴えるなど、対面で直接対話を行いました。

参加したくまがい桂子市議は、次の3件について発言しました。

①「市内昭和通りの石垣の安全対策を」
（要望）隣人所有の石垣が崩れてきていて、自宅の壁面を直撃の危険があり、その壁に隣接する部屋に病人が寝ているため、安全な状況に改善してもらいたい。

②「末広のシホロカベツ川の洪水対策を」
（要望）豪雨災害に備えるため、川の中に生えている立木の撤去や水底をさらって土砂などを取り除く工事をしてもらいたい。

③「道道1008号線の早期開通を」
（要望）市内の中央部には他の市町に通じる他の道がなく、平成覆道の土砂崩れ等による不通の際、救急搬送などにも支障があるため、残り10kmを早急に開通させてほしい。

（回答）R1年度・2年度と現地踏査をした。未供用区間10kmは地滑りのひどい地域で多額の事業費を要する。早急には難しい。

（再要望）石垣は積雪や融雪によってさらに崩れやすくなる。ぜひ早急にお願したい。

（回答）R1年度・2年度と現地踏査をした。未供用区間10kmは地滑りのひどい地域で多額の事業費を要する。早急には難しい。

国民が政治を動かす時代

=はたやま和也 前衆議が語る=

「今こそ 野党連合政権を」



日時：11月11日（水）

11：00～11：45

場所：りすた多目的ホール

令和元年度夕張市文化協会 三賞及び奨励賞授与者訪問

10月23日令和元年
度夕張市文化協会三
賞及び奨励賞授与
式開催が中止のた
め、授与者宅を訪問
しそれぞれ賞が手渡
されました。

【文化協会賞】 古城 将昭 様

1995年に夕張写
真サークルに入会以来
今日まで多くの作品を
発表してきた。

また混声合唱「リン
デンコール」コーラス
をたのしみ、同会長や
音楽協会長、文化協会
長などを歴任し文化振
興に貢献した。

【市長奨励賞】 渡津 澄夫 様

1971年に写真サ
ークルに入会し、20
06年より「夕張文化」
編集委員として写真提
供で発刊に尽力。夕張
市立病院、喫茶店「和」
での作品展示、「夕張
で観られる野鳥」の個
展開催など夕張の歴史
記録に貢献した。

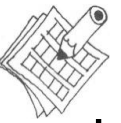
【文化協会奨励賞】 夕張南部幌南太鼓 「朱雀」代表 澤野 眞也 様

平成4年夕張市立幌
南中学校の課外活動と
して結成。平成12年以
降地域有志の協力で現
在は子供から大人まで
13名で活動に励んでい
る。市内外でイベント
にも参加し、地域活性
に貢献している。

【教育長奨励賞】

市内の3中学校を勤務
しながら、新道展会展
員・自由美術会員で作
品を発表してきた。ま
た、ゆうばり国際映画
祭のポスターの原画に
なるなど文化発展に寄
与した。

(故)比志 恵司 様
美術教師として夕張



くずさんの 夕張歴史散歩(146)

「皇民化政策」

明治維新 60 朝鮮植民地支配 ④

これまで見てきたように、日本帝
国は、非道な手段で朝鮮半島の国土
を奪い、大韓帝国という国を消し去
り、民族の誇りや文化・伝統を破壊
し続けてきました。

さらに「皇民化政策」を強行し、朝鮮民族そのも
のを抹殺しようとしています。

その一つが前号に述べた「皇国臣民の誓詞」でし
た。これを学校の朝礼ばかりでなく、会社、工場す
べてで毎日斉唱させられます。

前年の1936年(昭和11)には、神社規則令を
施行し全村に神社を建造し参拝を強要します。その
神社には天照大神や明治天皇をまつり、天皇崇拜を
押し付けます。

1938年(昭和13)朝鮮教育令が改正され、学
校での朝鮮語の使用が禁止されます。また朝鮮語の
新聞・雑誌が発売禁止され言論統制が強まります。

同年には、陸軍特別志願兵令を公布、国家総動員
法を朝鮮にも施行し、いよいよ侵略戦争に朝鮮民族
を巻き込んでいきます。

これだけでは足りず、1939年(昭和14)日本
での国民徴用令にならって、朝鮮では「朝鮮人労務
者ノ内地移住」による「集団募集」が行はれるので
す。夕張での朝鮮人炭鉱夫は、このような経過で半
ば強制的に集められたのです。

「内鮮一体」をうたい「皇国臣民化」の極めとし
て、「創氏改名」の強制があります。



紙 智子「かけある記」
参議院議員
紙 智子

核兵器は「終わりの始まり」へ

新たなうねりです。25日ホンジュラスが核兵器禁
止条約を批准し遂に50か国に。来年1月22日に条約
が発効します。思わず「バンザイ！」と叫びまし
た。2017年に国連で採択されて以来、各国の努
力が重ねられてきた結果です。被爆者のみなさんと
市民団体の粘り強い取り組みが世界の人々の心を
動かしてきたことは間違いありません。

私は20代に広島を訪ね初めての原爆ドーム、原爆
記念館、そして被爆者の方からお話をうかがう機会
がありました。「ピカッと光り一瞬目の前が真っ暗
になり、気がつくとかから100メートルくらい離
れたところに吹き飛ばされていた。家の下敷きにな
ったお姉さんを助けようと必死に頑張ったけれど、
小学生の力ではどうにもできず、火の手が迫り助け
出すことが出来なかった。今も自分の心にトゲのよ
うにささっている」と泣きながら聞いたことを思
い出します。

被爆者にとつて被爆の実相を語ることは、本当に
つらいと思います。でもつらい記憶をあえて思い起
こし、多くの人に二度と被爆者を生まないように訴
え続けてきたのです。

今こそ、サロ節子さんの言う核兵器の「終わり
の始まり」への歩みを進めましょう。唯一の被爆国
でありながら批准する意志を持たない日本政府を
市民と野党の共同で一日も早く転換しましょう。

臨時国会が始まりました。安倍政権の継承をかか
げ、国民に「自助」を求める菅政権。市民と野党の
共闘を進展させ政権交代を目指します。